

# 安全管理の取り組みについて



令和4年10月18日

社会福祉法人 六合福祉会

幼保連携型認定こども園 エルフのみらい

幼保連携型認定こども園 エルフのゆめ

# 六合福祉会 安全管理についての取り組み

## 1. 滋賀県大津市 散歩中の交通死亡事故（2019年）

### 事故状況

2019年5月8日10時15分頃滋賀県大津市の県道交差点で、歩道で信号待ちをしていた保育園児（レイモンド淡海）の列に軽自動車が入り込んだ。この事故で園児（2歳児）13人と保育士3名が病院に搬送され、園児2名が死亡し、8人が重症、5名が軽傷を負った。

保育園児らは3名の保育士に引率され園外へ散歩に出かけ、園から200メートルの丁字路で信号待ちをしていた事故に巻き込まれた。

### 対策の目的

この事故は園側が交通ルールを守り、保育士の配置などにも問題はない中で起きた。散歩（園外活動）は保育の中では重要な活動であり、両園とも散歩に出かける機会は設けており、交通ルールも順守している。それでも保育中の交通事故リスクを極力減らすために、まだできることはある。もっと改善できることはあると考え、検証・対策を行った。



① 散歩コースの安全見直し検証

- ・マップにて危険個所の検証

② 車両ドライバーにアピールする方法の検討（両園共通）

- ・職員の服装（散歩中であることを見えやすくする工夫）



- ・職員の携帯物（横断旗等）の検証



- ・散歩カート（散歩中であることを見えやすくする工夫）



・出発前確認

指差呼称  
園外保育出発前の指差し確認！

- ・リュック蛍光カバー
- ・パトライト点灯
- ・園外保育チェック表
- ・見守り用ビブス

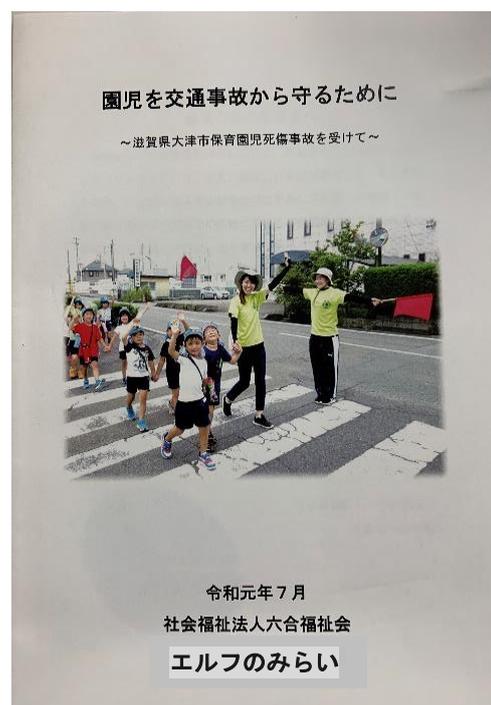
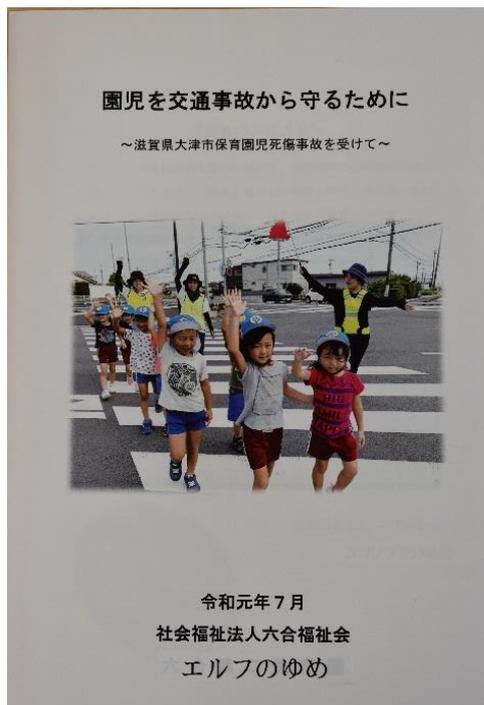
- ・横断旗
- ・ユニフォーム着用
- ・ホイッスル
- ・防犯ブザー
- ・催涙スプレー



③ 警察（交通課）との検証

④ 保護者通知

- ・冊子「園児を交通事故から守るために」を作成配布



⑤ 定期的な交通安全の見直し（毎年）

- ・新規職員への研修
- ・散歩コース検証

## 2. 登園時の園児園外抜け出し（2020年）

### 事故状況

2020年1月23日9時頃、登園した園児（4歳児）が自分で部屋を出て門扉の鍵を開閉し門外へ出る。近所のコンビニエンスストアで近隣の方に声をかけられ、本児の自宅まで送ってもらう

### 対策の目的

この事故では、特に登降園時間帯において、園児の居場所が把握しにくくなることから、登降園した園児の確認と園にいる園児の居場所が確実にできる方法を検討の上実施する。また、園児が園外に出てしまうことを防ぐため、子どもが操作できないような鍵の取り付けを検討する。

- ① 安全な環境の確認
  - ・ 門扉電子施錠化（セコムカード）



- ② 保護者通知
  - ・ 保護者へ電子施錠化について
  - ・ 保育中の園児居場所把握の周知

### 3. 福岡県中間市 バス置き去り死亡事故（2021年）

#### 事故状況

2021年7月29日、福岡県中間市双葉保育園に通っていた倉掛冬生くん（5歳児）が送迎バスに取り残され熱中症で亡くなった。

同日の午前8時35分に冬生君を含む7名の園児を乗せた送迎バスは園に到着した。当日バスを運転したのは園長で、他に同乗者はいなかった。到着後、園長と園で迎えた職員の2人で園児をバスから降ろしたが、全員がバスから降りたものと思い込み、バスの後方まで確認せず施錠した。

また、バスに乗り込む際に保護者から受け取った体調確認カードを、園長が担任保育士に渡しておらず、担任保育士も冬生君が欠席と思い込み、園長や保護者に確認、連絡怠った。

登園した冬生くんが帰りの送迎バスに乗ってなかったことで、職員が園に連絡し園内を捜索したところ、朝の送迎バス内から発見された。時間は午後5時15分頃で、冬生くんは50度を超える車内で9時間も取り残されていた。

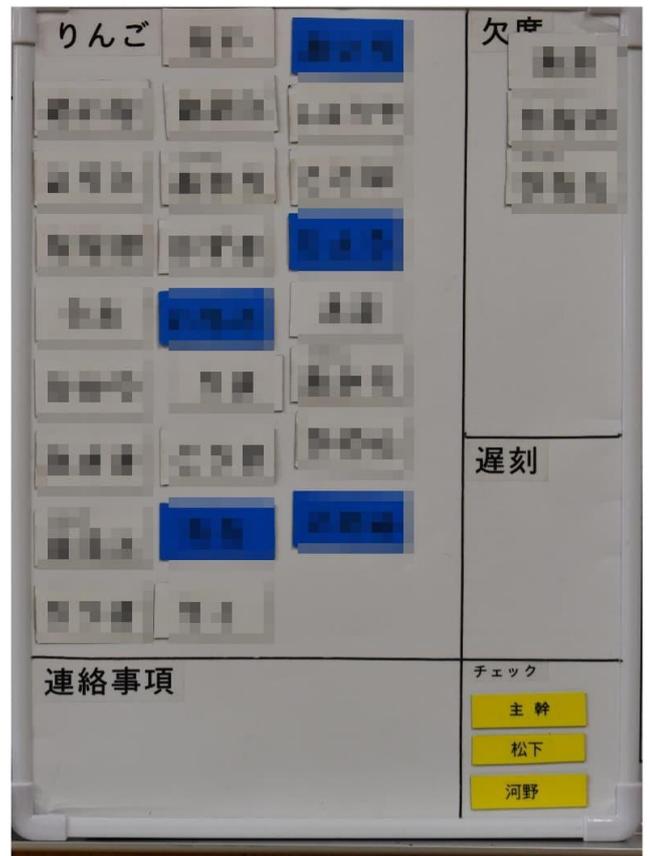
#### 対策の目的

この事故では園児がバスに取り残されたことだけが事故原因でなく、園児の出欠確認、居場所把握や職員の連携不足にも大きな問題があった。

両園とも送迎バスは使用していないが、園内などでもこのような事故が起こる可能性があると考え、園児の出欠確認方法や保育中における園内外の園児の把握を再度見直し、職員とも共有を図り、対策を行った。

①登降園時の園児把握体制の再検証

- 登降園ボードの活用



- 欠席連絡表での把握
- 登降園ボードと欠席連絡表を用いた目視によるダブルチェック確認
- ダブルチェック確認後、9時15分までに連絡無く欠席している家庭への電話連絡
- 散歩中の人数把握チェック表の見直し

②園舎内各室の施錠化（各室、教材庫等）  
エルフのみらい

[各クラス布団入れ、雑庫の鍵付]

施工前



施工後



2歳児



3歳児



4歳児



5歳児

[2F 職員トイレ、雑庫鍵付]



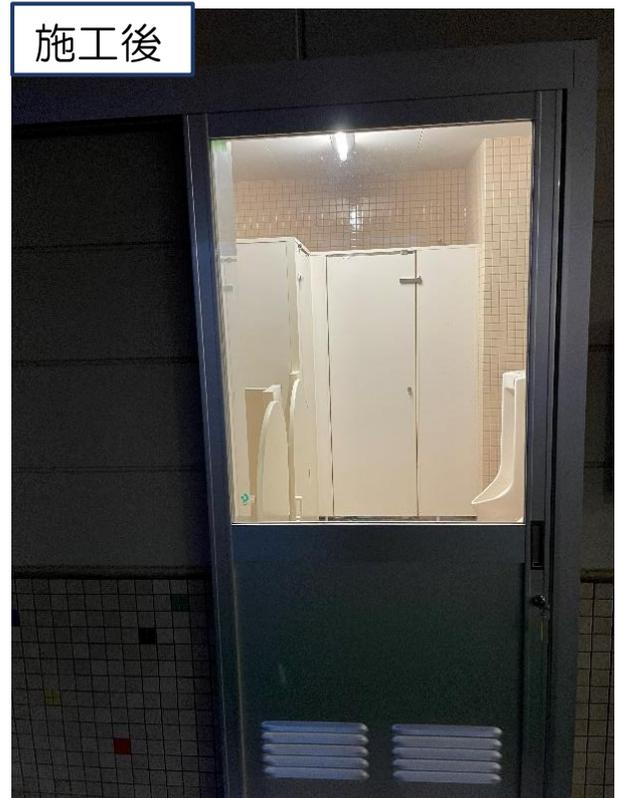
[外職員トイレ、雑庫鍵付]



[1F 階段下雑庫鍵付]



[外トイレ透明窓取替]



# エルフのゆめ

施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



- ① 保護者通知
  - ・ 保育中の園児居場所把握の周知

## 4. 広島県広島市西区 保育中の園外抜出し死亡事故（2022年）

### 事故状況

広島市西区の市立保育園で2022年4月16日（土）、この保育園に通っていた園児（5歳児）が近くの川で溺れて亡くなった。

園児は16日午前9時頃に登園し、10時過ぎから園庭で他の園児らと遊んでいた。16日は土曜保育日で当時、1～5歳の34名が登園し、8名の保育士が勤務していた。

園庭の3か所ある入口は施錠されていたが、園児は園庭の植え込みの隙間から園外へ出て、近くの川で流され、午後2時40分頃に広島市西区の太田川放水路の川岸で発見され、死亡が確認された。

### 対策の目的

この事故では施錠されていた門扉ではなく、園庭の生垣の隙間からの抜け出しであった。両園とも電子施錠門扉を設置しているが、門扉以外の場所からでもすり抜けのリスクがある場所があると考え、園庭だけでなく保育室、廊下などあらゆる場所から検証し対策をした。

また、事故の日は土曜保育であったが、保育士の加配人数は足りていた。それでもなぜ見落とされてしまったかの検証をし、対策を考えた。

#### ① 見守り専任職員の配置

- ・園庭・園外での保育には見守り専任職員（保育にはあたらない）を配置
- ・職員に見守り専任の役割業務を周知徹底

#### （\*1）役割業務内容

見守り専任職員の業務内容は以下のとおりとし、直接子どもの保育にはあたらず、何か異常があれば、迅速な報告や安全行動を起こすことに徹する。

#### （園内）

- ・園庭内及び園外周辺、門扉に異常がないか点検と確認
- ・遊具の安全点検
- ・死角となる場所に園児が入り込んでいないか確認
- ・園周辺の不審者確認
- ・子どもの抜け出し見守りと個々の居場所確認
- ・園児の活動確認（危険な遊びをしている子がいないか）
- ・見守り業務チェック表にて指差し確認

#### （園外）

- ・公園や園外場所の安全点検と危険物の取り除き
- ・遊具の安全点検
- ・死角となる場所に園児が入り込んでいないか確認
- ・公園や園外場所周辺の不審者確認
- ・子どもの抜け出し見守りと個々の居場所確認
- ・園児の活動確認（危険な遊びをしている子がいないか）
- ・子どもの抜け出し見守りと個々の居場所確認
- ・園児の活動確認（危険な遊びをしている子がいないか）
- ・見守り業務チェック表にて指差し確認
- ・園外でも見守り専任職員はビブス着用、ホイッスル携帯、担当とわかるよう可視化
- ・園外時は、防犯グッズを携帯



② 保護者通知

- ・保護者へ見守り専任職員配置について周知

③ 園庭及び園舎の安全確認と検証

- ・園内の死角確認と対策
- ・園外への園児脱出、外部侵入者防止のため、外部窓に面格子設置

## エルフのみらい



# エルフのゆめ

施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



・園庭周り、園児のすり抜け箇所確認と環境整備

その他

① 室内安全確認（安全な避難経路）

エルフのみらい

施工前



施工後



施工前



施工後



エルフのゆめ

施工前



工事名	エルフのゆめ様 各所 木工事他
工種	木工事
測点	

⑧ 廊下袋掛け  
着手準備

令和4年 8月10日

施工後



工事名	エルフのゆめ様 各所 木工事他
工種	木工事
測点	

⑧ 廊下袋掛け  
木部ウレタンクリア塗装  
袋掛け設置完了

令和4年 8月15日

施工前



工事名	エルフのゆめ様 各所 木工事他
工種	木工事
測点	プレイルーム

④ 各部屋畳入れ°-s解体  
着手前

令和4年 8月10日

施工後





## ② 職員の意見箱の設置

- ・2021年7月29日、福岡県中間市で起きたバス置き去り事故では、バスを運転していた園長と担任保育士の連絡不足も原因となった。

その背景には、日頃より職員の気づきが他の職員にも伝えやすい環境にあったか、特に職位の高い者、年齢の高い者に伝えやすい環境であったかが考えられる。

そこで、当法人では一人ひとりの気づきや考えを率直に言いやすい職場を目指し、職員の風通しを良くするための投書意見箱を、人目につかない場所に設置する。

